

クラスター	病理・病態系クラスター			
授業科目名	肝・胆道病理学・実習			
担当者名	責任者	大森 泰文	分担者	廣嶋 優子, 鈴木 麻弥
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	実験実習		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

授業の概要・到達目標

授業の目的: 様々な肝・胆道疾患の研究を進めるうえで有用な材料となる肝細胞・胆管上皮細胞・類洞内皮細胞・星細胞の単離・培養法を学び、実験に使用することを目的とする。

授業の到達目標: ラットやマウスの肝から肝細胞・胆管上皮細胞・類洞内皮細胞・星細胞などを単離すること、これらの細胞からエクソソームを調製すること、脂肪細胞との共培養を実践できることを目標とする。

授業の概要: 1か月程度の期間において、計45時間の断続的な作業になる。プログラムは受講者ごとにその研究テーマも考慮に入れながら作成する。

1. ラットやマウスの扱い方
2. ラットやマウスの門脈還流
3. 肝由来の様々な細胞のパーコール密度勾配法による分離
4. 肝由来の様々な細胞の培養
5. 胆管細胞癌由来細胞株からのエクソソームの調製
6. 脂肪細胞と肝細胞の共培養による脂肪毒性の検証法
7. 肝細胞から胆管細胞への分化誘導

授業計画

	講義題目 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	ラットやマウスの扱い方	大森 泰文 廣嶋 優子 鈴木 麻弥	分子病態学・ 腫瘍病態学 〔講座研究室〕
2	ラットやマウスの門脈還流		
3	肝由来の様々な細胞のパーコール密度勾配法による分離		
4	肝由来の様々な細胞の培養		
5	胆管細胞癌由来細胞株からのエクソソームの調製		
6	脂肪細胞と肝細胞の共培養による脂肪毒性の検証法		
7	肝細胞から胆管細胞への分化誘導		

授業形態および成績の評価方法・基準

研究室での実習30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)

大森 泰文, yasu@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。

自学自習における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。